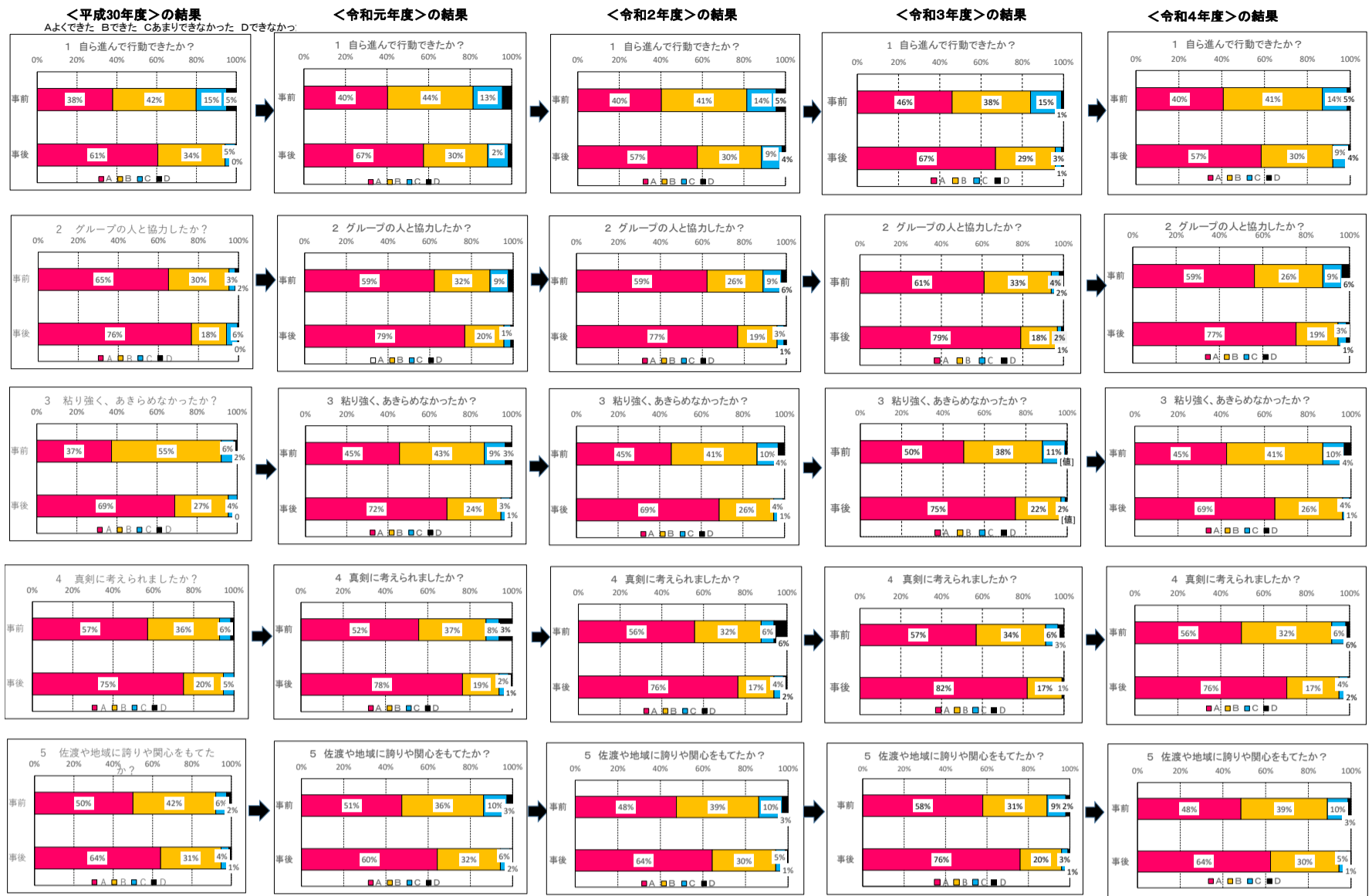


課題解決型職場体験「生徒」事前・事後振り返りアンケート集計



＜令和4年度 職場体験後の生徒の感想＞

働くことは大変なことが多いけれど、人の笑顔が見られるなどのやりがいもあると分かった。  
 挨拶が大事と言っていたので職場体験先では、周りの人へ挨拶をしたい。  
 私は、姿勢が悪いからマナー講座で、挨拶の仕方を学べたので、職場体験に行くときに意識したいです。実際に事業所の人に話を聞けたので、ミッションをクリアして赤泊を盛り上げていきたい。  
 職に就くまでの大変さや職に就いてからの仕事内容をたくさん知ることができてよかった。  
 それぞれの仕事に色々なやりがいがあることが分かった。  
 働くとはほかの人を楽にするということがわかった。  
 自分にとっては当たり前かもしれないけれど、相手にとっては特別かもしれないから、一つ一つに心を込めることが大切というのが印象に残った。  
 働く人は相手のことをしっかり考えることが大切だと思った。  
 朝早くから起きて仕込みをしたり自分の考えを追求することはやりがいだと思った。  
 子供のうちに大人の人達がやっている仕事をできるめつたにない機会なのでこれまで教えてもらったことを使って職場体験をできたらいいと思う。  
 佐渡だからその仕事のやりがいや課題があることがわかった。  
 好きなこと(趣味)は仕事にできるんだと思った。  
 生き方が凄かったから、真似したいと思った。  
 佐渡の人々のために頑張っている人たちはすごいなと思った。  
 職場の人が、その職について誇りを持っていることがわかりました。  
 自分が知らなかった佐渡のいいところを知ることができた。  
 佐渡を好きじゃないとできない仕事だと思った。  
 どの職業も、自分の仕事に責任を持って楽しくやっているんだと思った。  
 課された課題をチームのみんなで協力して取り組みたい。  
 職業に就くためには自分がやりたいと思ったら挑戦することが大切だと思った。  
 たくさんの仕事がありそれを会社の人と一緒に作りあげて行くのが素晴らしいと思った。  
 保育士は子供の命を預かる責任重大な仕事ということが分かった。  
 佐渡の人口減少が進む中で人口増加に向けて自分たちがどうすべきか考えることができた。  
 「美味しい」というものは空気がおいしいなどのいろんな意味があって面白かった。普段、美味しいとは思わない水も疲れた時は美味しいと感じることは何でかなど職場体験をして解決できるように頑張りたいと思った。  
 実際に働いている人のお話を聞いて、なるほどということがいっぱいあった。普通に生活しているけれど働いている人がいるから普通の生活を送れているとわかった。  
 佐渡にチーズケーキ屋さんがあることがびっくりした。季節や温度で味を変えていることやいろいろなデザインを描いていること、いろいろなおいしさがあることに気づいた。気持ちがこもっていることがわかった。  
 仕事というものは、きついけれど楽しいものでもあることが分かった。  
 どんな仕事にも楽しさや、やりがいがあるのだと分かった。  
 好きなことを仕事で活かせるのはとても素敵なことだと思った。  
 仕事をすることは生きる上ですごく大切なことだと思った。  
 佐渡のことがもっと気になった。  
 命がけで仕事をしている人も中にはいるということ。金のためではなく人のため、地域のために仕事をしているということ。  
 当たり前を作る過程には見えない所で頑張っている誰かがいることを知った。  
 職場体験のミッションは、新しい装備品を作ろう・お年寄りにもっと情報発信をしようという内容だった。装備品は実際に着させてもらい、自分たちが思ったことを質問し情報発信では、お年寄りの身になって考えた。